令和8年度

環境科学セミナー

無料

単位認定講座
この講座は、あおもり県民カレッジの単位として認められます。
1回につき3単位

第一部　基調講演

「がん専門医が語る、最先端の放射線治療」

東京大学医学部附属病院 放射線治療部門
病院診療医・がん治療専門医

中 川　恵 一 氏

Keiichi Nakagawa

1960 年東京都生まれ。東京大学医学部医学科を卒業後、同学部放射線医学教室入局。スイス Paul Sherrer Institute へ客員研究員として留学後、東京大学医学部放射線医学教室助手、専任講師、准教授・放射線治療部門長を歴任。2026 年より、東京大学医学部附属病院病院診療医、国際医療福祉大学大学院教授。「がんのひみつ」、「最強最高のがんの知識」、「放射線医が語る―福島で起こっている本当のこと」など、著作多数。

第二部　成果報告

●「トリチウムが生物へ与える影響を調べています」
環境科学技術研究所　トリチウム研究センター　副主任研究員　高 井　大 策

●「六ヶ所村沿岸のトリチウム ～これまでとこれから～」
日本海洋科学振興財団　むつ海洋研究所　海洋研究部　主任研究員　小 藤　久 毅

日 時

令和8年
12月17日(木)
13時30分～16時10分（開場13時）

第1部　基調講演（13時35分～14時35分）
第2部　成果報告（14時45分～16時05分）

会 場

八戸グランドホテル
2階グランドホール

青森県八戸市番町14番地　☎ TEL 0178–46–1234

お申し込み方法

参加をご希望の方は、裏面のはがきに住所、氏名等を記入して郵送またはFAXでお申し込みください。電子メール、ホームページからのお申し込みも可能です。12月14日までにお申し込みください。（当日参加も可能です。）

お申し込み・お問い合わせ：公益財団法人 環境科学技術研究所 共創センター

TEL.0175-71-1240　FAX.0175-71-1270

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村尾駮家ノ前 1-7　ホームページ https://www.ies.or.jp/　電子メール kanken@ies.or.jp

主 催：　青森県　（公財）環境科学技術研究所　（公財）日本海洋科学振興財団

FAX 送信の場合 0175-71-1270 へ

・本はがきで収集した個人情報は、本報告会の運営に関する当研究所からのご連絡やご案内にのみ利用いたします。

（キリトリ線）

料金受取人払郵便

野辺地郵便局承認

38

差出有効期間
令和8年12月16日
（切手不要）

郵便はがき

0 3 9 3 2 9 0

上北郡六ヶ所村
尾駮家ノ前一番七

公益財団法人
環境科学技術研究所
共創センター　共創推進課　行

環境科学セミナー（八戸会場）

お名前	フリガナ	参加人数　人
ご住所	〒	
電話番号	（　　）	

放射線に関することなど聞きたいことをお寄せください。

（キリトリ線）

排出放射性物質影響調査（青森県委託事業）の紹介

トリチウム化合物が生物に及ぼす影響を調べています

環境科学技術研究所（六ヶ所村）では、トリチウム研究センターが中心となって、トリチウムを含む化合物を体内に取り込んだときに、からだにどのような影響があるのかを明らかにするための調査研究を進めています。

トリチウムは水素の仲間で、自然界や私たちのからだにもごくわずかに存在しています。トリチウムは弱い放射線を出しています。この放射線は体外からあびてもほとんど影響がありませんが、水や食べ物として体内に取り込まれると、内部被ばくによってからだの細胞に影響を与える可能性があります。

そこで、細胞やマウスにトリチウム化合物を取り込ませ、細胞の設計図であるDNAや染色体に異常が生じるかどうか、異常が生じる場合には頻度がどの程度なのかを詳しく調べています。さらに、当研究所が蓄積してきたガンマ線による外部被ばく影響のデータと比較することで、トリチウム化合物による内部被ばく特有の影響があるのかどうかを明らかにしようとしています。

調査の内容や成果等はホームページ（https://www.aomori-hb.jp/）に掲載されています。